

『ケンゲキ オンラインスクール』の教育的効果について

—児童たちの感想文の比較分析から—

瀧川 淳

The teaching effectiveness of “Kengeki Online School”

Jun Takikawa

(Received September 30, 2020)

1. 問題の所在と研究の目的

本研究は2020年7月21, 27, 28日に公益財団法人熊本県立劇場のコンサートホールと熊本市内小学校の教室を結んで行われた『ケンゲキオンラインスクール ～音楽を知ろう聴こう』を鑑賞した小学校のうち、2校の5年生の感想を比較分析し、『ケンゲキオンラインスクール ～音楽を知ろう聴こう』の教育的効果を明らかにすることを目的とする。

2020年冬に全世界を襲ったCOVID-19の感染防止対策の一環として、2020年2月に内閣総理大臣によって全国すべての小中高校に臨時休校の要請が出されて、さらに4月16日には全国に緊急事態宣言が発令された。緊急事態宣言そのものは5月25日に全国で解除され、6月以降順次、学校は再開したようである。しかしながら未だ学校教育は大きな混乱の渦中にある。

音楽科においては、文部科学省が2020年9月に示した『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～(2020.9.3 Ver.4)』(文部科学省, 2020年, 46頁)で「音楽における『室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏』(★)」は、「レベル3地域においては『感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い』ことから、行わない」ようにするよう指示されている。またレベル2地域においては、「リスクの低い活動から徐々に実施することを検討」するとしているが、「(★)の付した活動については特にリスクが高いことから、実施について慎重に検討」すると明記されている。

この通達に基づいた各教育委員会からの指示等により音楽の授業は現在でも新型コロナウイルス以前のようには歌えない・演奏できない・合唱/合奏ができないという状況が続いており、鑑賞や楽器類を使用しない音楽づくり(創作)の活動が主に展開されている。さ

らに先に挙げた臨時休校の結果、いわゆる主要5教科の授業時間数確保のために、音楽科の授業は削減されていると聞く。

このような現状にあって、児童たちの音楽的な学びの保障が急務であることは言うまでもない。そこで筆者は先に挙げた『ケンゲキオンラインスクール ～音楽を知ろう聴こう』を熊本県立劇場と共に企画し主催した。

2. 研究の方法

『ケンゲキオンラインスクール ～音楽を知ろう聴こう』に参加した小学校から2校を選び、鑑賞した児童の感想文を比較分析することで、本企画の教育的効果を検証する。

本研究で分析の対象としたのは、熊本市内のH小学校とI小学校の小学5年生である。感想文回収の数はそれぞれH小学校が64件、またI小学校が58件である。なお、これは事前に筆者が依頼した感想文ではなく、鑑賞した学校の担任や音楽専科教諭が自主的に児童たちに書いてもらったものを調査の目的でいただいた。したがって、感想文(ワークシート)の項目も異なるが、本研究ではその中で、H小学校は「『ケンゲキオンラインスクール』を鑑賞して」、またI小学校は「質問・感想などがあれば書いてください」という設問について分析を行う。

自由記述の分析は、テキストマイニング(計量テキスト分析)によるが、分析のためのソフトはKH Coder Ver. 3を使用する。

3. 『ケンゲキオンラインスクール ～音楽を知ろう聴こう』とは

『ケンゲキオンラインスクール ～音楽を知ろう聴こう』(以下、オンラインスクールと略記)は、公益財団法人熊本県立劇場の主催、熊本市教育委員会、な

らびに熊本大学大学院教育学研究科の後援で2020年7月21, 27, 28日に開催された(実施報告の詳細は、熊本大学附属教育実践総合センター『熊本大学教育実践研究』第38号(2021年2月刊行予定)に掲載予定のため、そちらをご参照いただきたい)。

本企画は、主に県内在住のプロフェッショナル演奏家に演奏を依頼し、熊本県立劇場コンサートホールで演奏してもらい、それをYouTube Liveを通して、参加した熊本市内の小学校の各教室へリアルタイムで配信する、というものである。その際、児童たちが実際に鑑賞している様子を演奏者が感じ取れるようにするため、Zoomを通してコンサートホールへ送信するよう学校側に依頼した。

筆者は、本企画の発案、監修を行い、また全公演の司会進行をつとめた。留意点としては、各公演の演奏曲は必ず教科書に掲載されている楽曲を取り上げた。その他の楽曲は、基本的に演奏者側から提案してもらったが、教科書教材と関わりが持てる選曲を事前に依頼した。学校側へは、事前に進行表や楽曲解説を配布し、また各演奏会の学習上のねらいやプログラム構成の意図を合わせて提示した。そうすることで、各校、先生方が個別に事前事後学習やプリントなどを用意し、本企画が児童たちの学習のひとつとして位置付けることができたようである。

4. 『オンラインスクール』の実施方法

本企画は、児童が各学校の教室で鑑賞できる。各回は30分で構成された。

各教室はタブレット(熊本市の小学校にはLTE対応のApple社製iPadがすでに配置されている)を用いて事前に送付されたアドレスを入力することでYouTube Liveに接続する。またタブレットは各教室に配置された大型テレビに接続し、タブレットの画像を大型テレビへと映し出していた。これが鑑賞に必要な最低限のセッティングであるが、中には音楽室で鑑賞し大きなスピーカーに繋ぎ、よりよい音質で鑑賞した学校もあったと聞く。

コンサートホールでは、ビデオ配信業者に委託し、初日は計3台のビデオカメラ(センター, 下手上手), 2, 3日目は計4台(センター, 下手上手に加え、ステージ後ろから客席を見渡せるアングル)のビデオカメラを用いて、演奏中の演奏者の様々なアングル(全体や手元のみ等)を撮影できるようにした。また単に演奏を聴かせるだけではなく、司会(筆者)を入れ、曲の簡単な構造の説明や紹介なども行い、さらに演奏者たちにも演奏者の視点からそれぞれの曲の聴きどころや楽器について話をしてもらうことで、児童たちには聴

きどころをある程度焦点化してもらった。

以下(表1)は、各回のプログラムと曲目である。

表1 ケンゲキオンラインスクールのプログラム

7/21 低学年プログラム
曲目： ①『ラデツキー行進曲』(シュトラウス1世) ②『行進曲』(チャイコフスキー) ③『トルコ行進曲』(モーツァルト) ④『メヌエット』(ベツォルト) ⑤『ミッキーマウスマーチ』(ドッド)
演奏：ピアノデュオ/谷脇裕子, 柴田遥子
7/21 日本の伝統音楽プログラム
曲目： ①『春の海』(宮城道雄) ②『「さくら」より主題と6つの変奏』(藤井凡大) ③『パプリカ』(米津玄師)
演奏：小路永和奈(箏), 藤山雅弘(尺八)
7/27 中学年プログラム
曲目： ①『メヌエット』(ベートーヴェン) ②『クラリネット・ポルカ』(作曲者不詳) ③『チャルダッシュ』(モンティ)
演奏：黒葛原康子(ヴァイオリン), 春日香南(クラリネット), 吉田秀晃(ピアノ)
7/28 高学年プログラム
曲目： ①『ハンガリー舞曲』第5番(ブラームス) ②『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』第1楽章(モーツァルト) ③『プリンク・プランク・プルンク』(アンダーソン)
演奏：黒葛原康子, 田中唱(ヴァイオリン), 黒木奈津美(ヴィオラ), 原田哲男(チェロ)

5. 児童たちの感想に基づく分析

5.1 分析データの概要

本稿では、熊本市内のH小学校とI小学校の小学5年生が書いた感想をもとに、オンラインスクールの

教育的な効果を検証する。

5年生が鑑賞したのは、3. に示した弦楽四重奏によるプログラムである。『ハンガリー舞曲』第5番を演奏する前には前半と中間部の旋律の違いや冒頭の旋律と伴奏の違いを説明してから鑑賞した。また『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』では、冒頭の旋律がトゥッティであることを伝え、まずそれぞれの楽器の簡単な説明を交えて冒頭を演奏してもらい、それからトゥッティで演奏することで、個々の楽器の音色や合わさった時の音色に着目させた。また1楽章を演奏した後に、楽曲名の日本語訳が「小さな夜の音楽」であることを伝え、タイトルによりふさわしいと思われる第2楽章の冒頭を演奏してもらった。最後の『プリンク・プランク・プルンク』では、弦楽器は弓で弾く以外に指で弾くこともできることを実演してから演奏してもらい、という流れで構成された。

考察の対象としたのは、H小学校5年生の感想64件と、I小学校5年生の感想58件である。H小学校では「『ケンゲキオンラインスクール』をかんしょうして」との設問に児童が自由に記述した。またI小学校では、音楽専科教諭が事前にプリントを作成して、そのプリントに記入しながら最後に振り返りとして「質問・感想など」を記すスペースに児童が自由に意見を記述するようになっている。本論では、この「質問・感想など」に記された内容を考察の対象としている。ちなみに、このプリント（I小学校）では、そのほか、事前学習として①楽器の名前と特徴、②クイズ形式で弦楽器全般の特徴を学ぶことができるようになっており、また曲目や演奏者、編成なども明記され、振り返りとしてミニテストと「質問・感想など」を記入するスペースが設けられていた。オンラインスクールでは事前に進行表や学習のねらいを配布したことで担任や音楽専科もこれに基づいてそれぞれの現場の状況に合わせて授業へと位置付けることができたのではないだろうか。

5. 2 分析の方法

児童たちから得た122件の自由記述データ（「資料」参照）は、KH Coder Ver. 3を使用して計量テキスト分析を行った。まず入力したデータをKH Coderに読み込み、児童たちの文章の形態素解析を行い、表記の揺れ等を統一した。今回は、その後、各校別に同じ条件で使用された言葉の頻出度と言葉の共起性を比較し、オンラインスクールにおける学びの特徴を明らかにしていきたい。

5. 3 H小学校における5年生の感想の分析

まず児童たちが書いた64件の感想には270文章が

含まれ、品詞別に抽出された語は5272語、そのうち分析に使用した語は2006語であった。これら抽出語のうち、頻出した回数が10回以上のものが表2である。

表2 H小学校児童の感想で10回以上頻出した語

抽出語	出現回数
音	83
曲	76
思う	75
音楽	44
アイネクライネナハトムジーク	39
聞く	39
指	32
美しい	29
バイオリン	29
プリンクプランクプルンク	26
夜	26
楽器	24
知る	24
聞	23
ハンガリー舞曲第5番	20
楽しい	20
演奏	19
チェロ	17
ピチカート	17
感じ	14
ビオラ	12
好き	12
最初	11
初めて	11
見る	10
元気	10
今日	10
大きい	10
低い	10
明るい	10

またこの頻出語に対して、共起分析を行った結果が図1である。分析にあたっては、最小出現数を10に設定している。また描画する共起関係の絞り込みは、描画数を30に設定している。

H小学校では、鑑賞前の事前学習は行われず、オンラインライブを純粹に楽しむ形で鑑賞が行われ、児童たちが鑑賞後の自由に感想を書いていた。

これらの結果から、H小学校の児童たちにとっては、モーツァルト作曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク

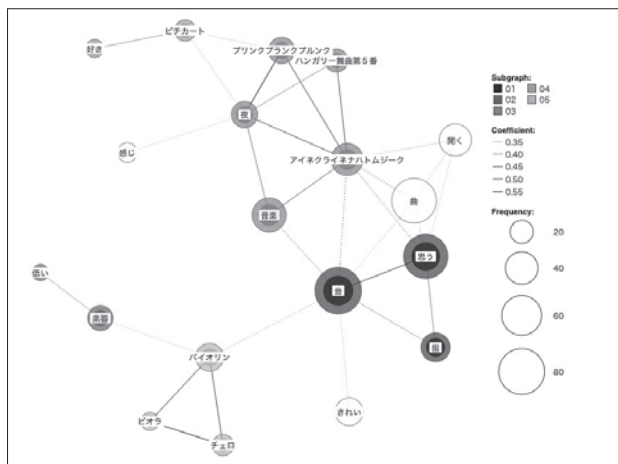


図1 H小学校児童の感想より
(10回以上頻出した語の共起ネットワーク)

ク], アンダーソン作曲「プリンク・プランク・プルンク」, ブラムス作曲「ハンガリー舞曲第5番」の順に言及されていることがわかる。しかし共起ネットワークを見る限り、それぞれの曲想については「プリンク・プランク・プルンク」で演奏されたピチカートに対して多くの児童たちが興味関心をもったことが現れている。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」に関する「夜」については、司会である筆者が日本語タイトル（「小さな夜の音楽」）を提示し、それによりふさわしい2楽章の冒頭を演奏したことからより印象に残ったと考えられる。また楽器についてもヴァイオリン、ビオラ、チェロと当日演奏された楽器全ての記述があることから楽器への興味関心も映像のライブならではの一定の効果があったとみて良いと考えられる。なお、楽器に関連して「低い」との意見があるのは、チェロの音色の低さに興味を持つ児童がいると同時に、ヴァイオリンの高い音に対してチェロの音の低さに驚く児童が多かったからだろう。その他3曲通して聴いて、音が高くなったり低くなったりする変化について興味を持ったという発言もみられた。ネット回線を通して大型テレビからの音声にもかかわらず、音がきれいであったと指摘する児童たちが多かったことも特記してもよいだろう。

5.4 I小学校における5年生の感想の分析

次にI小学校5年生の児童たちが書いた58件の感想には277の文章が含まれ、品詞別に抽出された語は4635語、そのうち分析に使用した語は1718語であった。これらの抽出語のうち、頻出した回数が8回以上のものが表3である。

またこの頻出語に対して、共起分析を行った結果が図2である。分析にあたっては、最小出現数を8に設定している。また描画する共起関係の絞り込みは、描

表3 I小学校児童の感想で8回以上頻出した語

抽出語	出現回数
思う	69
プリンクプランクプルンク	47
音	45
曲	44
アイネクライネナハトムジーク	42
演奏	36
指	31
聞く	31
楽器	22
バイオリン	21
チェロ	20
きれい	18
ハンガリー舞曲第5番	17
ピチカート	17
好き	15
楽しい	14
知る	14
今日	12
音楽	11
ありがとう	10
弓	10
いろいろ	9
リズム	9
残る	8
使う	8
初めて	8
大きい	8
低い	8

画数を30に設定している。

I小学校では、先に述べた通り、プリントを用いての事前学習を行っており、また「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」に関してはすでに学んでいることが児童の感想から伺える。オンラインスクールに対するお礼も多く見られるが、これは担任や音楽専科の指導が入っているためと思われる。

さて、曲目については「プリンク・プランク・プルンク」への言及が最も多く、次いで「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」と「ハンガリー舞曲第5番」の順になっている。「プリンク・プランク・プルンク」と「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」については共起関係も強く、両方の楽曲を指摘した児童が多いことがわかる。また「プリンク・プランク・プルンク」に関わっては、H小学校の児童たちと同じように楽器

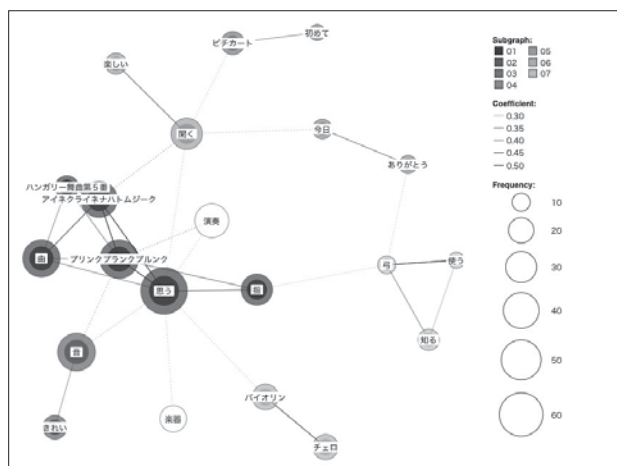


図2 I小学校児童の感想より
(8回以上頻出した後の共起ネットワーク)

を弓ではなく指で演奏する姿や、この奏法から表現される響きに興味関心を持っていることが明らかになっている。楽器に関しては、ヴァイオリンとチェロの興味が大きかったようで、この図には現れていないが特にチェロは演奏者の演奏する様子への言及なども見られ、この楽器に憧れを持った児童が少なからずいたことがわかる。加えて、ここには現れていないのだが、児童たちは長調短調の勉強をすでにしており、またプリントにもそれを問う設問があり、これらの曲（特に「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」）が長調なのか短調なのかを訊ねる質問もいくつか見られた。

5. 5 2つの小学校の感想を比較して

2校の感想を比較すると、まず担任もしくは音楽専科の指導内容の違いがあることが明らかとなっている。I小学校では事前の学習の内容や、それ以前に聴いた「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」についての言及が多く、また今回のオンラインライブによってそれまでの学びが深まった様子を伺うことができる。一方、H小学校では、オンラインライブ中に司会や演奏者が解説した内容と演奏を結びつける感想が多くみられた。

2つの学校の児童の学びに共通して突出している点は、「プリंक・プランク・ブルンク」の奏法（指で演奏するピチカート）への興味関心である。これは、この楽曲が最後の曲目であったこと、またそれまでに弓で弾く曲を2曲鑑賞していることで比較聴取して際立ったと考えられる。また司会者の進行によって、弦楽器の奏法には弓で弾く以外に何か奏法があるのかと演奏者に問いかけ、それに対して演奏者が指で弾くピチカートを紹介していることから、児童たちの興味を引いたのではないだろうか。多くの児童がまず弓以

外で演奏できることに驚き、また指で演奏した時の音色の違いに言及している。

演奏や聴こえてくる音響に関して、「きれい」だったと答えた児童が両校に見られたことは、プロフェッショナルとして活躍する演奏家たちの演奏はもとより、それを配信する上で音響を担ったスタッフの技術もあるだろう。オンラインライブを開催する上で、いくつかの配信媒体を試し、何度か試行錯誤を重ねて、音質や画質に関してはYouTube Liveが最も良いという結論に達し、YouTube Liveによる配信を行なった。とはいえ、最高の画質音質設定にして配信すると演奏者の実際の演奏と、学校での鑑賞の間に40秒から1分のディレイが生じた。画質を落とすことでディレイを極力少なくしたが、それでも双方向的なやりとりは諦めざるを得なかった。その中で児童たちが、演奏や音響に関してこのような評価を両校から確認できたことは、本企画が鑑賞授業の教材として十分に耐えうる質を保証しているということになるだろう。

6. おわりに

本論では、7月に熊本県立劇場主催で開催された「ケンゲキ オンラインスクール ～音楽を聴こう知ろう」を鑑賞した小学校のうち、2校の5年生の感想を比較することで、本企画がどのような学びにつながったのか、また授業の一環としての学びがどのように位置づけられたのかを検証した。

具体的には、オンラインライブで演奏された3曲において、各校どのような視点で学びが見られたのか、また両校に共通する学びはどんなものであったのかを明らかにした。児童たちの感想からは、弦楽四重奏の響きや楽器個々の響きはもとより、奏法への気付きが多くみられた。これは、いわゆる演奏会のようにただ演奏するだけではなく、各曲の解説や各曲のつながりを実演を交えながら行い、また演奏中も4つのカメラでアングルを適宜変えながら鑑賞できたことが大きな要因と言えるのではないだろうか。一方、各曲では所要所の実演を交えながら、簡単な音楽の構成についても解説を行なったのだが、それらについての記述は今回抽出した語からは見られなかった。

今後の課題としては、今回取り上げていないより小さな抽出語を含めて各曲の学びがどのようなものであったのかを明らかにしたいと考えている。今回取り上げた抽出語においても2校で共通する語が、固有名詞以外にも多数見られる。今後、より包括的な考察を加えて、オンラインスクールを鑑賞した児童の学びへと迫りたい。

7. 引用・参考文献

- NHK「NHK 特設サイト新型コロナウイルス」(https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/chronology/、2020年9月14日にアクセス)
- 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染

症に関する衛生管理マニュアル ～『学校の新しい生活様式』～ (2020.9.3 Ver.4) (https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html、2020年9月14日にアクセス)

「KH Coder」(https://kncoder.net、2020年9月15日にアクセス)

(資料) H小学校とI小学校の児童たちの感想 (児童の表記のママ)

「ケンゲキオンラインスクール」をかんしょうして	
H 小 学 校	私は、バイオリン・チェロ・ピオラの3つの音がきれいに合わさってとてもきれいな音になっていました。オンラインだったけど「ハンガリー・お曲第5番」や「アイネクライネナハトムジーク」などの曲が、ケンゲキにいるみたいでした。楽しそうなおとこ、がんばっているところ、伝わってきました。むずかしくてもかんたんそうに見えるところをがんばっていると始めて知りました。とても楽しい三十分でした。
	1人1人の音がすごい大きな音を出してすばらしい音でした。4人だけでたくさん音を出して大きいおと小さい音がでていたのでわたしもしたいとおもいました。最初の曲は最初はちょっと、どくどくかんじだったけど、と中からもりあがっていて、すごいと思いました。がっき、それぞれの音がちがってることがわかりました。最後の曲は指ではじいて、すごいと思いました。いたそうなのにながながで、すごいと思いました。わたしたったら、がまんができませんと思いました。
	バイオリンとピオラの大きさがちがうことをしました。手てががきをひくのやってみたくて、チェロがひくいおとだったのでわかりやすかったです。こんどきかきがあるときにはなまでバイオリンやチェロ、ピオラをきいてみたい。音楽をきいて、またきいてみたいとおもいました。いちばんたかい音のバイオリンが自分の中ではききました。
	悲しい所は悲しい所ではじいて、楽しい所は体がうごいたりして楽しかったです。むずかしい、えんそうもこつちを見ているとかんたんにひいてる感じがしてそれもプロの1つのわざなのかなあと思って思いました。音もきれいでしょいもつなくですごいなと思って思いました。また、ききたいです。
	アイネ・クライネ・ナハトムジーク第1章の合奏の響きが凄かったね起きに聞いたら目がぼろりひらきそうな合奏だった。最後の合奏のときとてもふしぎな音がでてきたりしてふしぎな合奏だった。どうやってあんな音がでるか知りたかったです。
	バイオリンの種類はいろんな名前といるんな大きさがあっていて、大きさがあってあんなに音がかわるのとはしなかった。してよかったです。あと、バイオリンらゆひでもひけるといのがわかりました。それに、音楽も、4つのががきしかかかってないのに、あんなにきれいにひいてたのですごいなと思いました。バイオリンのことでしゃべってくれたときもバイオリンのことがすごくわかりました。
	かんしょうしてががきをかがじょうずでしたことはががきでやがなくても指でひけることです。
	バイオリンやピオラやチェロの音がきれいでした。いろいろなががきの音やががきの大きさがどれくらいかわりました。音が高いやひくいかわりました。ぜんぶのががきひくのむずかしそうだとおもいました。さいごにゆびでひいてたのもすごかったです。えんそうもきれいにひいてたからききやすかったです。
	こういうオンラインでががきを聞いてるとそこの場所にいるみたいなんじでとても楽しかったし1回目と2回目の音楽はとも知っているきよくで4人であんな音が出る人なんかさいしょとてもびっくりしました。今回の音楽はとも知っているきよくで4人であんな音が出る人なんかさいしょとてもびっくりしました。
	アイネクライネナハトムジークは音楽の時にCDでできただけでなまできいたのははじめてでした。ゆびでひいたらちがう音がでることがわかりました。3つの楽器だけであんなにきれいな音でることがわかりました。もっといろんな曲をきいてみたいです。
	すごくはやくがあつてころがおどるようになつてきました。みんなのえんそうきれいでした。次は、生で見たです。最後の指ではじいて音を出しえんそうどうやつて音を出すのを知りたいと思いました。またえんそうききたいです。
	県つげきじょういきたいと思つた。前宝づかのげきとでんじろう先生のじけんのしかみたことがなかつたけど、こんどはオーケストラの聴いてみたいと思つた。一番いんじょうにアイネクライネナハトムジークという曲です。きいたことがありましたが、前きいた時よりもはやくありました。弓をつかわずにえんそうした時もはやく力がありました。
	わたしはあまり音楽にきょうみがなかつたけど、今回ちゃんと聞いたら前より少しきょうみをもちました。むずかしいひき方と言つてたひき方もかんたんそうにみえてすごいと思つた。少しかつてみたいと思つた。他にも、いろいろな音楽を聞きたいです。3種類の楽器だけであんなにすごい音楽をひいてたので、びっくりしました。次もまた、聞ける、きかきがあるといいなと思つた。
	わたしのしているきよくをががきでひいてるのは、はじめてでした。きれいなメロディーでした。わたしもそうゆう人になりたいです。手でひいたきよくどちもきれいでした。今日は、おつたれきまでした。とてもたのしかったです。ありがとございました。
	バイオリンとピオラは、同じぐらいの大きさがあつたけど、バイオリンとピオラの音はぜんぜんちがつた。バイオリンの種類は、同じだけど音はぜんぜんちがうことがわかつた。
	「ブリック・ブランク・ブルック」のはじく音が可愛かつたです。ヴァイオリンの低い音とチェロの低い音が分りやすかつたです。「アイネクライネナハトムジーク 第一楽章」では「小さな夜の音楽」だったけど、「第一楽章」は、「お星」で感じました。でも、「第2楽章」は「夜」で感じて意味をきいてみました。楽器が四つしかないのは、音がきれいで、大きくて、すごいなと思つた。すごく楽しかつたです。ありがとございました。
	いつもきくしよを食べるときにながれだしてアイネ・クライネ・ナハトムジーク第一楽章だったので聞きたかったです。あと1年生のときにきくしよでながれだしたとき今日今日オンラインできいたときの方がリズムが分りやすかつたので聞きたかったです。あと1年生のときにきくしよでながれだしたとき今日今日オンラインできいたときの方がリズムが分りやすかつたので聞きたかったです。あと1年生のときにきくしよでながれだしたとき今日今日オンラインできいたときの方がリズムが分りやすかつたので聞きたかったです。
	ハンガリー舞曲第21番まであつたことを初めてしました。楽器が大きくなるにつれて音が低くなつていたので聞きたかったです。わたしはあまり音楽にきょうみがなかつたけど今回の曲を見てきいて自分もひいてみたいと思つた。たつた3種類の楽器でいるんな曲をひいてたからすごいと思つた。
	バイオリン、チェロ、ピオラをぼうがなくとも手でひけるのにびっくりしました。さいしょは10人くらいでひくのかと思つたら、4人でバイオリン、チェロ、ピオラでひいてたのでびっくりしました。すごい人たちのえんそうがきけてうれしかつたです。こんどもう一回、なまでみたいです。
	すごいと思つた。弓でひくところと指ではじいてひくところ、どちらもすごいとおもいました。アイネ・クライネ・ナハトムジークは元気をもらえるような曲でした。すごかつたです。音楽のすごさを知りました。とてもきれいな音で、とくに、バイオリンの音が好きでした。アイネ・クライネ・ナハトムジークは、なんとなく知つてたけどきいてみると、とてもすごかつたです。音楽は気持ちをよくするのでもきいてみようと思つた。
4人だけであんなにすごいえんそうができて、すごかつた。アイネ・クライネ・ナハトムジークはこの前じゆぎょうで聞いたことがあつたけど生で聞いても、はやく力がすごくてかっこよかつた。こういう音楽ってなかなか生でみたことがないから、今日のを生で生で見たと思つた。バイオリン、ピオラ、チェロ、それぞれちがう音がきこえなつて、かっこよかつた。	
2曲目のアイネ・クライネ・ナハトムジークの第一楽章と234楽章の最初が聞けて良かつたです。最初ハンガリー舞曲第5番がすごかつたので聞きたかったです。最初ハンガリー舞曲第5番がすごかつたので聞きたかったです。最初ハンガリー舞曲第5番がすごかつたので聞きたかったです。	
私は最後の曲が印象にのりました。指ではじいて音を出せることにおどろきました。アイネクライネナハトムジークの意味は「小さな夜」ということにおどろきました。とてもウキウキするような曲なので静かな意味におどろきました。3曲ともゆるやかな曲なので聞けて本当にうれしかつたです。4人でとてもすばらしい曲をひいてたので、すごいなと思つた。今日は本当にありがとございました。今度は見にいって生で聞きたいです。	
楽器でも大きさがちがうけど音の高さや低さがあつたことがわかつた。えんそうしているときに手だけ動かすだけでなく体もいっしょに動かして、すごいなと思つた。バイオリンなどはきれいな音を出すのがむずかしそうだなと思つてたけど、ケンゲキの人達はすごきれいな音だったのでかん単に見えなかつた、本当はすごく難しいのかなと思つた。	
ケンゲキオンラインスクールの音楽を聞いて、げん楽器の音が本当にきれいなおとをして元気をもらえました。後、音楽が重なり合う時の音がとてもきれいな音でした。上手だつたです!!	
とてもきれいな音でした。バイオリンの音がやかやかできれいでした。最後の音楽がゆびでひいてたのでびっくりしました。その音楽はうきうきして楽しい音でした。楽しかつたです。えんそうしていただきたかありがとございました。バイオリンやピオラチェロコントラバスどの楽器も音がきれいでした。とくにアイネクライネナハトムジークでみなさんの楽器のひき方が上手だつたのでびっくりしました。ほんとうにありがとございました。	
「ハンガリー舞曲第5番で聞いたことないな」と思つて聞きたけど、聞いたことがあつたやつで「こんな名前なんだ」と思つた。色々な高さのげん楽器がきけてよかつたです。アイネ・クライネ・ナハトムジークを聞いて、いつもCDだつたから、どんな楽器を使つてるのかわからなかつたけどじつさい見るとバイオリンなどを使つてひいてたことがわかりました。楽しかつたです。	
アイネクライネナハトムジークがすごいと思つた。一つ一つの楽器の音とかをいかしていかして4人だけだつたのですごいとおもいました。同じところを別々でひいてるところもあり音の重なりがきれいなと思つた。指でげんをはじくやつもあつたけどさうでなく音も最初から最後までおおきさが変わらなくすごいと思つた。	
かんしょうした曲はぜんぶきいたことのある曲でした。弓ではなく指ではじくひきかたを覚えてよかつたです。はじめて指ではじくひきた曲をきけてよかつたです。きいたことのある曲でしたけど名前まではしなかつたのでおぼえようと思つた。	
ブリック・ブランク・ブルックは、アイネクライネナハトムジークとちがってスカットみたいでとても明るい曲だと思つた。ゆみを使わないひき方があることを初めてしました。ブリック・ブランク・ブルックは本当にものが落ちた音のようで、すごく表現しているんだとおもいました。ハンガリー舞曲は、紹介してくれたように、ホップスに近く、とてもウキウキしました。	
楽器のひき方で曲のいんじょうがかわるということがわかりました。アイネクライネナハトムジークのあと3曲をきいてみたいです。バイオリンは、はずむようなピオラはあたたかな、チェロは男性的のうたの音が合わさつたあつたの音になっていふということがわかりました。弦楽器には、ピチカート以外にどんなひき方があるか知りたいです。AとBのちがいがよくわかりました。今日、聞いた曲を作つた人のことを調べてみて、今日、聞いた曲のことをもつと知りたいです。	
最初1人ずつひいてるときはきいたけど、みんなひいてるときは、あつみがあつたつた感じがしてきれいに聞こえました。ピチカートという言葉は知らなかつたので、ピチカートという言葉は指ではじくことと、指ではじくのはあつたつた感じがして、いいなと思つた。どの曲も元気が出る楽しくなるような曲ですつと聞かれていられるようすてきな曲でした。	
弦楽器の四重奏はささえあいなうたに感じました。(ヴァイオリン)せんりん。(ピオラやチェロ)ばんそうとういうように音の重なりがすごきれいでした。ハンガリー舞曲は明るいリズムをふみたくなつた。アイネ・クライネ・ナハトムジークは小さな夜の音楽というイメージが強くあつた。ブリック・ブランク・ブルックとはびははるような曲でした。ピチカートや手てでこつて音を出す奏法があるとは、知つてたけど聞いたことがなかつたのでワクワクしました。けんげきに生でみたいです。	
特にブリック・ブランク・ブルックは指だけだつたのになままで音が合つていてげんをはじく以外の事もしてすごいと思つた。バイオリンなどの楽器を指ではじいてるとはめつたにみれなかつたのでうれしかつたです。アイネクライネナハトムジークではきれいに音が重なり合つたメロディーが流れていました。ナハトムジークの一曲目は夜の感じはあまりありませんでした。2曲目は聞いたとたん少し音楽の音が暗くなつて夜に感じました。ハンガリー舞曲は、ハンガリー舞曲は指だけだつたのになままで音が合つていてげんをはじく以外の事もしてすごいと思つた。バイオリンなどの楽器を指ではじいてるとはめつたにみれなかつたのでうれしかつたです。アイネクライネナハトムジークではきれいに音が重なり合つたメロディーが流れていました。ナハトムジークの一曲目は夜の感じはあまりありませんでした。2曲目は聞いたとたん少し音楽の音が暗くなつて夜に感じました。	
ハンガリー舞曲第5番はほんとうにいきおいがあつてすごく聞きなれた曲で、どんな意味なのか調べてなりました。アイネ・クライネ・ナハトムジークはぜんぜん小さな夜という感じはしなかつたので、びっくりしました。ブリック・ブランク・ブルックはげん楽器はゆめでしか音が出せなかつたと思つてたけれど、指ではじくだけでも音が出ていたのでおどろきました。	

	<p>「ブリンク・ブランク・ブルク」ははじめてえんそうしてと中で「チュック」という音ははいていた。4つのおとがかさなっていた。「ハンガリー一歩曲」はいきおいがあたりしていてもきれいな曲だった。「アイネクライネナハトムジーク」は小さな夜の音楽というよりもちがうイメージがあって第二楽章の方が小さな夜の音楽な感じがした。</p> <p>ハンガリー一歩曲第5番は最初に聞いたことがあったから、思い出しながら聞いていた。最初と最後の同じ音がちゃんと聞いた。アイネクライネナハトムジークは夜の曲と言っていたけれど暗い感じにきこやうな感じがしていいと思いました。ブリンク・ブランク・ブルクは指でけんをはじいてけこう速いテンポだったからすごいと思いました。またききたいです。</p> <p>司会の人がこの曲はきこやうな曲ですみたいになんとなくわかった。ブリンクブルクブルクはピチカートのとくしゅえんそうのしかたでおもしろかったです。</p> <p>どれも全部よかったですけれど私が一番よかったのは、ブリンクブルクブルクでした。楽しそうにえんそうして、おもしろかったからです。田中さんがちょっとだけ、ブリンクブルクブルクをさいしよだけひいて「楽しい曲だな」と思いました。</p> <p>一つ一つちがう曲をえんそうして、どれも聞きごたえがありました。ほくは、ハンガリー…とアイネクライ…の2曲を知っていましたが、こんなにきれいな音色なことは初めて知りました。またブリンク・ブランク…の曲は楽しくなるような曲で、なぜか知りませんが楽しくなりました。また4人で色々な曲をえんそうできることにびっくりしました。曲の内容を話していただき、曲の内容がすごく分かりやすかったです。ありがとうございました。また会えるといいです。</p> <p>最しよはきいたことなきよくだと思つたらだんだんきいたことのあると思いました。はじめてゆびをつかってバイオリンをひけることをしました。だんだん明るくなるきよくだと思いました。いいきもちになりました。</p> <p>ハンガリー一歩曲第5番は、最初は、少し暗い感じとちゅうから明るい感じになったので変わった所も分かったし、自分も聞いていてとても楽しくなりました。アイネ・クライネ・ナハトムジークは、学校の給食でよく流れてくる気がするなどおもしろい。ブリンクブルクブルクは、弓を使わずにひいていたので指がいたくなりそうだし、音がすこしゆみを使わなかったらこまるのかなと思います。</p> <p>1曲目のハンガリー一歩曲のさいしよは、みんな同じところをひいてるけど、とちゅうから、みんなバラバラにひいて、すごいと思ったし、高い音と低い音がまざりあって、とてもきれいでした。2曲目はブリンクブルクブルクを指でひいてえんそうしたいです。またききたいです。</p> <p>みなさんひくのがじょうずでいっかいいっかいしつかりしてきれいなあとでアイネクライネナハトムジークのきよくだをじょうずでいいなとおもいました。これからもがんばってください。</p> <p>ハンガリー一歩曲のサウンドイッチ（AとB）のちがうところがわかりました。アイネクライネナハトムジークは、初めはじゅもんをとえんしていると思ったけど日本語にたとえと、小さな夜の音楽だということが分かりました。ブリンクブルクブルクは、ものが落ちるときの音だということが分かりました。ピチカートでしているのすごいいいと思いました。</p> <p>2曲目がさいしよは元気がなる曲でいいと思います。3曲目が指でひいていてどうやったらあんなにできるんだらうとふしぎになります。とちゅうで元気になる曲ができてきたのいいと思います。そして、小さい曲から大きい曲にかわったので自学でやってみよう。1曲目と2曲目はちゃんとひいていただくといいと思います。3曲目の歌は家に帰えるともっちゃんとききたいです。そして見にもいいです。</p> <p>最初のハンガリー一歩曲第5番は編曲は、あまり知らない曲でさいしよはくらかったんですけど、あとから明るくなって、元気が出てきました。アイネクライネナハトムジークはわたくしと知っていて、私もさいしよは小さな夜の音楽にはあまり聞かえませんでした。わたしが、一番好きだと思った曲はピチカートです。指はじくと暗い音も楽しく聞かえるところをわたくしが好きです。あわせて聞いてみると、もっちゃんもしく、たのしく聞かえるところがとても好きです。またこんど、どこかで聞かえたいです。</p> <p>わたしはさいしよのハンガリー一歩曲と途中で少し明るくなるわりわり方とよくわかった。アイネクライネナハトムジークから日本語で小さな夜の音楽って言って知らなかったのがよかったです。ブリンク、ブランク、ブルクは指でひいて演奏していたのでとても良かったです。</p> <p>「アイネクライネナハトムジーク」が「小さな夜の音楽」という意味なのを初めて知りました。司会の人が言ったように「なんでこんな明るい曲が小さな夜の音楽なの？」と思いました。第二楽章は聞いたことなきよくだが「このはまが夜みたい」と思っています。「ブリンクブルクブルク」は、しゅもんが落ちるの？」と思いました。ピチカートはスタッカートみたいだと思いました。わたしはふつうに弓でひいた曲より、ピチカートを使った曲の方が好きです。</p> <p>ハンガリー一歩曲AとBのちがいがよくわかりました。アイネクライネナハトムジークは、よく聞いたことがあったのでのりになりました。ブリンクブルクブルクはわたくしと知っていて、アイネクライネナハトムジークぜんじょうだったので、ちがうなと思いました。今日のケンゲキスクールをきいて音楽が好きになりました。おもしろかったです。</p> <p>この3つの曲をきいて、まず、ハンガリー一歩曲第5番はとてもいい曲でもうとうとうしよな曲でした。次にAINE KURAINA NAHATOMUZIKUはとてもきれいな曲でこれはきいたことがある曲でした。次の曲はブリンクブルクブルクはこれもいい曲で和風の音楽でした。とても上手でした。</p> <p>次番。</p> <p>わたしはピチカートでひいている「ブリンク・ブランク・ブルク」が好きでした。バイオリンを「〜ちょう」といってかぞえるなんて、初めて知りました。今日に、バイオリン、ピオラ、チェロの音をじっくり聞いたのがよかったです。またきいてみたいです。ほかの曲もききたいです。</p> <p>最初のハンガリー一歩曲第5番はよく聞く曲で、お母さんがとても好きです。初めてきいたとき思っていたのとちがう、びっくりするくらいポップで明るい曲でAとBと音の感じがちがう明るくなる曲でした。アイネクライネナハトムジーク第一楽章は「小さな夜」という意味があると聞いたけれど、第一楽章を聞いたとき「小さな夜」とは思えないはずみのあるきよくだでしたが、第二楽章を聞きなるとしくしました。ブリンクブルクブルクはピチカートだけの曲ではみずみのある曲でわたしもバイオリンでこれをひいたことがあり、はじくときやがく体がはすむので元気がなりました。この3曲がとても好きになりました。</p> <p>音楽が高くなったり低くなるところに気づきました。すごいいい音でかんだうとうとう。3曲の中でよく気づけたのは高くなったり低くなったりするところです。またききたいとおもいました。</p> <p>今日のケンゲキオンラインスクールでアイネクライネナハトムジークは好きな曲なのでうれしかったです。わたしはとてもきうきした音楽で最初はとても元気になる歌で、後からなめらかな音になったので音楽ってすごいいいと思いました。</p> <p>「ケンゲキオンラインスクール」をかんしようして音楽の楽しさとプロはすごいいいと改めて感じました。はじめに聞いたハンガリー一歩曲は第21番までであることをしりました。アイネクライネナハトムジークはチェロがテンポとリズムをきいていました。4曲からなる曲で2曲目を少しひいてくれて2曲目の方が小さな夜の音楽という感じがしました。ピチカートというやり方を教えてください。ピチカートとは指ではじくという意味です。ピチカートで演奏するブリンクブルクブルクはものが落ちるような音がしていました。</p> <p>教室にいてもその場にいるようなきれいな音でした。どの曲も知っていて解説もあってわかりやすかったです。自分がメロディーをひかなくてもその音でみんなを支えているということを知って次からかえらうとしたいと思います。最近ではコロナで人が集まる所にはいけなから音楽を聞いてよかったです。ときどきクラシックを聞かえたい、今日えんそうするところを見てもっと音楽が好きになりました。</p> <p>アイネクライネナハトムジーク バイオリンとチェロとピオラの音がまじってあつみが出ていい音になっていて明るくなったり暗くなったり色々な場面がある。おなじばめんを低くひいたり高くひいたり色々な工夫をしています。それと音のひびきやすこく味のあるところを何回もながして。静かな夜の音楽とさいしよは静かな音楽より元気が出る曲だった。典もすこしひいて、ひいている人もすこしひいてひく人にも工夫がある。ふつうに楽器をひくことが長くかかっているがけんをはじきながらと短くかんじました。</p> <p>ブリンクブルクブルクの曲がピチカートでひいてあり、ゆみひいていた時より少し音が短いいいと思いました。アイネクライネナハトムジークは、小さな夜の音楽という意味だということを知ったけれど、あまり夜の音楽という感じはしなかったです。なぜこの名前にしたのかわかりました。ハンガリー一歩曲はきこやうな感じがしていいと思います。</p> <p>ブリンクブルクブルクは、リズムが同じで大きく小さくのくり返した。アイネクライネナハトムジークは、チェロがひく、テンポがじょうずでめだっていた。小さな夜の音楽とおもえなかった。でも2曲目は、夜ばいなど思った。一曲目ともふん気もまったくちがった。でもこの曲も4人なのに色々な音楽がめだつてすばらしかった。見に行っている曲をききたい。</p> <p>ブリンクブルクブルクの曲がピチカートでひき方がおもしろくて音がはねてるように、わたしは、ブリンクブルクブルクが3曲の中で一番好きでした。チェロがアイネクライネナハトムジークをひくと、音が広がるようにわたしは思いました。アイネクライネナハトムジークは夜の音楽より元気な音楽だと思いました。チェロは音が低かったので、音がく感じました。ハンガリー一歩曲のAやBがよくわかりました。4つの楽器だけだったのにたぐさんの楽器でひいたような音だったのですごいいいと思いました。</p>
H 小 学 校	<p>わたしはさいしよのハンガリー一歩曲と途中で少し明るくなるわりわり方とよくわかった。アイネクライネナハトムジークから日本語で小さな夜の音楽って言って知らなかったのがよかったです。ブリンク、ブランク、ブルクは指でひいて演奏していたのでとても良かったです。</p> <p>「アイネクライネナハトムジーク」が「小さな夜の音楽」という意味なのを初めて知りました。司会の人が言ったように「なんでこんな明るい曲が小さな夜の音楽なの？」と思いました。第二楽章は聞いたことなきよくだが「このはまが夜みたい」と思っています。「ブリンクブルクブルク」は、しゅもんが落ちるの？」と思いました。ピチカートはスタッカートみたいだと思いました。わたしはふつうに弓でひいた曲より、ピチカートを使った曲の方が好きです。</p> <p>ハンガリー一歩曲AとBのちがいがよくわかりました。アイネクライネナハトムジークは、よく聞いたことがあったのでのりになりました。ブリンクブルクブルクはわたくしと知っていて、アイネクライネナハトムジークぜんじょうだったので、ちがうなと思いました。今日のケンゲキスクールをきいて音楽が好きになりました。おもしろかったです。</p> <p>この3つの曲をきいて、まず、ハンガリー一歩曲第5番はとてもいい曲でもうとうとうしよな曲でした。次にAINE KURAINA NAHATOMUZIKUはとてもきれいな曲でこれはきいたことがある曲でした。次の曲はブリンクブルクブルクはこれもいい曲で和風の音楽でした。とても上手でした。</p> <p>次番。</p> <p>わたしはピチカートでひいている「ブリンク・ブランク・ブルク」が好きでした。バイオリンを「〜ちょう」といってかぞえるなんて、初めて知りました。今日に、バイオリン、ピオラ、チェロの音をじっくり聞いたのがよかったです。またきいてみたいです。ほかの曲もききたいです。</p> <p>最初のハンガリー一歩曲第5番はよく聞く曲で、お母さんがとても好きです。初めてきいたとき思っていたのとちがう、びっくりするくらいポップで明るい曲でAとBと音の感じがちがう明るくなる曲でした。アイネクライネナハトムジーク第一楽章は「小さな夜」という意味があると聞いたけれど、第一楽章を聞いたとき「小さな夜」とは思えないはずみのあるきよくだでしたが、第二楽章を聞きなるとしくしました。ブリンクブルクブルクはピチカートだけの曲ではみずみのある曲でわたしもバイオリンでこれをひいたことがあり、はじくときやがく体がはすむので元気がなりました。この3曲がとても好きになりました。</p> <p>音楽が高くなったり低くなるところに気づきました。すごいいい音でかんだうとうとう。3曲の中でよく気づけたのは高くなったり低くなったりするところです。またききたいとおもいました。</p> <p>今日のケンゲキオンラインスクールでアイネクライネナハトムジークは好きな曲なのでうれしかったです。わたしはとてもきうきした音楽で最初はとても元気になる歌で、後からなめらかな音になったので音楽ってすごいいいと思いました。</p> <p>「ケンゲキオンラインスクール」をかんしようして音楽の楽しさとプロはすごいいいと改めて感じました。はじめに聞いたハンガリー一歩曲は第21番までであることをしりました。アイネクライネナハトムジークはチェロがテンポとリズムをきいていました。4曲からなる曲で2曲目を少しひいてくれて2曲目の方が小さな夜の音楽という感じがしました。ピチカートというやり方を教えてください。ピチカートとは指ではじくという意味です。ピチカートで演奏するブリンクブルクブルクはものが落ちるような音がしていました。</p> <p>教室にいてもその場にいるようなきれいな音でした。どの曲も知っていて解説もあってわかりやすかったです。自分がメロディーをひかなくてもその音でみんなを支えているということを知って次からかえらうとしたいと思います。最近ではコロナで人が集まる所にはいけなから音楽を聞いてよかったです。ときどきクラシックを聞かえたい、今日えんそうするところを見てもっと音楽が好きになりました。</p> <p>アイネクライネナハトムジーク バイオリンとチェロとピオラの音がまじってあつみが出ていい音になっていて明るくなったり暗くなったり色々な場面がある。おなじばめんを低くひいたり高くひいたり色々な工夫をしています。それと音のひびきやすこく味のあるところを何回もながして。静かな夜の音楽とさいしよは静かな音楽より元気が出る曲だった。典もすこしひいて、ひいている人もすこしひいてひく人にも工夫がある。ふつうに楽器をひくことが長くかかっているがけんをはじきながらと短くかんじました。</p> <p>ブリンクブルクブルクの曲がピチカートでひいてあり、ゆみひいていた時より少し音が短いいいと思いました。アイネクライネナハトムジークは、小さな夜の音楽という意味だということを知ったけれど、あまり夜の音楽という感じはしなかったです。なぜこの名前にしたのかわかりました。ハンガリー一歩曲はきこやうな感じがしていいと思います。</p> <p>ブリンクブルクブルクは、リズムが同じで大きく小さくのくり返した。アイネクライネナハトムジークは、チェロがひく、テンポがじょうずでめだっていた。小さな夜の音楽とおもえなかった。でも2曲目は、夜ばいなど思った。一曲目ともふん気もまったくちがった。でもこの曲も4人なのに色々な音楽がめだつてすばらしかった。見に行っている曲をききたい。</p> <p>ブリンクブルクブルクの曲がピチカートでひき方がおもしろくて音がはねてるように、わたしは、ブリンクブルクブルクが3曲の中で一番好きでした。チェロがアイネクライネナハトムジークをひくと、音が広がるようにわたしは思いました。アイネクライネナハトムジークは夜の音楽より元気な音楽だと思いました。チェロは音が低かったので、音がく感じました。ハンガリー一歩曲のAやBがよくわかりました。4つの楽器だけだったのにたぐさんの楽器でひいたような音だったのですごいいいと思いました。</p>
	<p>質問・感想など</p> <p>ハンガリー一歩曲は急に早くなったりおそくなったりして、早くなった時はびっくりしてしまったりしました。とてもひびくような感じがしてとても良かったです。アイネクライネナハトムジークは、音楽の授業でも学んだのですごく楽しみにまっています。この曲は低い音が多くて好きです。音がバイオリンとちがうてことと耳にささやくようなささやきが好きです。ブリンクブルクブルクの曲がかわいい感じがしていいです。とてもかわいいていつもと曲のかんじがちがうのが良かったです。</p> <p>今日はオンラインで生のえんそうが聞けてとてもうれしいです。わたしはこの中でもブリンクブルクブルクが好きです。普通とはちよとちがうひきかたで、弦をはじいてひくピチカートです。ほかにえんそうの音をきくとおもしろい感じがします。そのことをなんと言いか知りたいたいです。私は得にピオラの音が好きです。大人の女の人が歌ってるかのようです。今日は生のえんそうが聞けて良かったです。また聞かえたいです。</p> <p>この前の勉強で第二バイオリンがあることを知りました。なので今日一つ一つの楽器のひき方や音がちがう聞いてよかったです。第二バイオリンは第一バイオリンとまったくひき方がちがうてかさなつた時にきれいな音になっていてよかったです。「ピチカート」というひき方もはじめて聞いてびっくりしました。</p> <p>今日はありがとうございました。②の「アイネクライネナハトムジーク」はこ前の勉強で、いしきして聞かえたい。わたしは③の「ブリンクブルクブルク」が一番好きでした。リズムもおもしろく、とても好きです。四つの音が重なった時、すごいいい音になり、感動しました。またいつか県立劇場にいらして聞かえたいです。</p> <p>Liveで色々な曲が聴けて嬉しかったので、今はモニター越しですが、会場に行ける様になったから、生で聴かえたいです。きつと画面音より会場の方が響くと思うので、より一層華麗に聴かえたいです。バイオリン、基本の音に感じました。第一バイオリンと第二バイオリンが重なると、素晴らしい音がでるの不思議です。ピオラ、ピチカートをする、ウクレレみたいな音が好きです。普通に弾いても人間の声に近いので歌っているみたいです。チェロ、低い音を出すところが不思議です。僕が好きな曲もチェロが多いです。楽しい演奏有り難うございました。</p>
I 小 学 校	<p>先日は元気もらえる演奏をありがとうございました。わたしは皆さんに演奏してもらった中で、ブリンクブルクブルクの曲をきいてごもんに思ったことがあります。それは「指」です。お祭りは指でひくけれど、「バイオリン、ピオラ、チェロ」を、指でひくことにおどろきました。それに、ブリンク・ブランク・ブルクをひいてるときにみなさんの笑顔がすごくて、わたしまで笑顔になることができました。そして、一番に残ったことは、モーツァルト作曲のアイネクライネナハトムジークが心に残りました。</p> <p>今日はありがとうございました。バイオリン、ピオラ、チェロの三つよ楽器でえんほうして、「音色がとてもきれいだなあ」と思いました。低い音、高い音で全然ちがう音やパートをひいてるのに、きれいに重なっているのが、すごく不思議でした。「ブリンクブルクブルク」を指でひいていたのはすごいいいと思いました。ハワイみたいな音楽ですごく楽しい気分になりました。コロナウイルスがおさまたら、「県立劇場」にじっさいに行つて聞かえたいです。みんな笑顔でひいていて笑顔でいいなと思いました。</p> <p>ハンガリー一歩曲第5番は、短調と長調に変わるのをおもしろかった。とても楽しい気分になりました。アイネクライネナハトムジーク第一楽章は、本当に名前がじゅもんみたいでびっくりしました。私もこの曲はよく聞きます。ブリンク・ブランク・ブルクは名前がよいかいといいました。ただとてもリズムが楽しかったです。もう一回ききたいのはブリンク・ブランク・ブルクです。この曲を伴奏器とこでひいたらおもしろそうなのでやってみよう。</p> <p>ブリンクブルクブルクは森の中でみんなでいっしょにえんそうしているみたいで、自分は好きだと思いました。あと指でひくのがきつといいなと思ったけどえんそうができて、すごかったです。ハンガリー一歩曲は長調と短調どちらもあっておもしろいとおもいました。アイネクライネナハトムジークはCDできいたのとまったく同じでプロはすごいいいと思いました。</p> <p>私は、「ブリンク・ブランク・ブルク」が一番好きです。長調で明るい感じがするからです。指でひいていたのは少しはさうと思つたけれど、あたたかい国にいる気分になりました。指ではじくおウクレレみたいな感じがときどきとておもしろかったです。みてるだけでワクワクしました。みなさんの演奏がとてもきれいでいいなと思いました。またいろんなえんそうもききたいです。ありがとうございました。</p> <p>ハンガリー一歩曲を私は、はじめて聞いたのにも心ひびくえんそうでした。私はピアノを習っているけどバイオリンの弦の音などはあまり聞いた事がなかったのだから家にかえたら母や父にえんそうの事をいっばい話したいです。それとブリンクブルクブルクをむずかしいのにピチカートでひいてくださるありがとうございました。これからはがんばってください。</p> <p>私がすごいいいと思ったのは、③目のブリンクブルクブルク（アンダーソン）の手でひいていたのです。ピオラはむずかしいと思つてたけど、すごくがんばっていたなあ〜と思います。いろいろな学校の人が見ている中ではがんばっていたと思います。これからはわたしたちはおうえんしています。あとコロナにも気を付けてくださいね！これからも楽器を頑張ってください。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">I 小 学 校</p>	<p>私が一番好きな曲はアンダーソンが作曲した「プリंक・ブルンク・ブルンク」のビチカートがすきです。理由は音がカタカタでリズムがよくてたまに「シュー」とするところがおもしろかったです。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」よりも「プリंक・ブルンク・ブルンク」の方が夜のイメージがあると自分はおもいました。「プリंक・ブルンク・ブルンク」のふつうのえんそうもきいてみたいです。楽しかったです。</p>
	<p>ハンガリー舞曲第5番の音の大きさが低い高い低いとなっている曲と思った。アイネクライネナハトムジークの楽器が、重ね合っていて大きな音がでていた。プリंक・ブルンク・ブルンクを指でひいてすごくていたのかなと思った。</p>
	<p>なんでバイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバスにはが2つあいてるんですか、音をひびかせるためです。プリंकブルンクブルンクがすごくてのしかんじだなぁ～と思いました。大きい楽器小さい楽器では音の高さや低さがちがんだなぁ～と思いました。</p>
	<p>①わくわくした。いろいろなリズムが重なって、スゴかった。おもしろかった。きいたら元気になる。②いろいろな音があつておもしろい。いろいろなリズムがあると思う。いろんな曲で1つになるのがスゴい。③手ではじいてる。ふしぎなままできたことないリズム。これもまたしもうような音楽だ。この3つをきいたら、何でもできそう。しかも①なんでこんな曲を思いついたの?②なんでこの曲をひこうと思ったの?全部弓でひくより感じが変な感じがよかったからです。</p>
	<p>わたしの心の中にのこったのは、プリंक、ブルンク、ブルンクです。りゅうはげんをはじてえんそうしていたからです。すごくうまひいていたけど、むずかしいのがわかりました。</p>
	<p>ビチカートでプリंक・ブルンク・ブルンクを演奏して、弦楽器のうらのぶぶんをキューとやるのが演奏中でできてすごいいいと思いました。アイネクライネナハトムジークをきいたことは、あるけど、見たことないのでうれしかったです。</p>
	<p>プリंक・ブルンク・ブルンクの歌でこすっているのがおもしろかったです。手でひいていたのがすごかったです。モーツァルトの歌では、夜ではなく元気がでる曲なのでよかったです。プラムスの曲も元気がでる歌で元気が出ます。第1バイオリンと第2バイオリンがちがうえんそうできさなるといいなと思いました。</p>
	<p>なんでハンガリー舞曲第5番、アイネクライネナハトムジークやプリंक・ブルンク・ブルンクにチェロ(コントラバス?)を使わないんだろう?とぎもんに思いました。私は3つの曲で1番アイネクライネナハトムジークが好きです。理由は3つの曲の中でいちばんきれいな音だと思ったからです。</p>
	<p>チェロは何kgくらいですか?4kgくらい。曲はいろいろな楽器があつた方がはなやかにいっておもしろかったです。バイオリンで第1バイオリンと第2バイオリンがあるのも知らなくて知れてよかったです。またききたいあつたらききたいです。</p>
	<p>バイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバスなどを指ではじく演奏のしかたをビチカートということを知りました。弦楽器を一度やってみたくて思いました。弓にはどうして馬のしっぽが使われているんだろうかと思いましたが、昔の人がいろいろな道具で使っていたんだらうね。</p>
	<p>プリंक・ブルンク・ブルンクよりリズムが好きでハンガリー舞曲第5番はどこかできいたことがあつて嬉しかったです。アイネクライネナハトムジークももう一回聞けてよかったです。音楽クイズが全問正解できて嬉しかったです。3つの楽器でえんそうするととてもきれいな音色になることがわかりました。</p>
	<p>アイネクライネナハトムジークやハンガリー舞曲第5番の曲は一つ一つの楽器でひくとまったりとちがう歌にきこえてすごかったです。でも全てあわさつた曲もいいと思いました。</p>
	<p>バイオリンはひくだけしかできないとおもっていたけど指で、はじくやり方もあるということがわかりました。曲も1つ1つの楽器よりみんなで合わせた方が曲のふんいきも変わってきました!穴があいているのはおとをひびかせるためということもわかりました。</p>
	<p>プリंक・ブルンク・ブルンクで弦を指ではじいてひくことがビチカートということがわかりました。ハンガリー舞曲第5番はとってもきれいでした。アイネクライネナハトムジークはバイオリン、ピオラ、チェロがきれいにきかなくなりました。</p>
	<p>そくめんをこすごいとおもいました。ギターとはちがう穴の形がかわつていた。プリंक・ブルンク・ブルンクではじくのがすごかった。</p>
	<p>①は聞いたことがあつたけど名前がしらなかつたので今日聞いてよかったです。プリंक・ブルンク・ブルンクのビチカートが楽しかったです。アイネクライネナハトムジークは、みんな習つたけどしっかり聞いていなかったでしっかり聞けてよかったです。また聞きたいです。</p>
	<p>きれいな音ですごくいい感じ。なめらかな音。高い音。うにひびく感。ひくおと。高い音。ピアノもえんそうしていた。工夫をしているような感じ</p>
	<p>とてもきれいな曲だなぁと思つた。ハンガリー舞曲第5番の曲がながれはじめたときからずっとこもり歌を聞いているようにだんだんとねむくなつちやいました。質問です。アイネクライネナハトムジークは長調と短調どちらですか。ぜひ聞きたいです。明るい長調です。</p>
	<p>私は一番「プリंक・ブルンク・ブルンク」が好きです。私はバイオリンは弓でひくことしかしらなかつたけど、ビチカートというやり方があることを知ってビックリしました。指でひいてとても聞いたそうでした。質問です。弓の馬のしっぽであつてえんそうするんですか?はい。</p>
	<p>わたしは、ビチカートという言葉を初めて聞きました。指ではじいた音は小さくてゴツゴツした感じがきこえてびっくりしました。一番心に残つたのはアイネクライネナハトムジークでした。</p>
	<p>一つ一つの音がきこえてくれるだけではなくそれをあわせていい感じになっているからすごいいい音でした。アイネクライネナハトムジークがきれいだつたのでじっさいにもききたいと思つた。</p>
	<p>弦を指ではじくのはいいですか?なぜ弓のひもは馬のしっぽですか?最後の曲すごかったです。ひき方は二つあることがわかりました。</p>
	<p>たいておとをだして、楽器をこすつて音をだしてたのですごかったです。みんなの息もそろつてきれいだつた。質問です。なんで音楽がすきなつた人ですか?指ではじく演奏の仕方をビチカートの言い方もおぼえたのでよかったです。</p>
	<p>プリंक・ブルンク・ブルンクが、すごいいい思つた。わけは、ふつうだつたらうまのしっぽでえんそうするはずが、手だけでえんそうして、木のところをきくとつてやつてあつたらしい音でも聞いてすごいいい思つた。ほくが見たことある音楽家は20人くらいはあつたのに4人でえんそうして。</p>
	<p>プリंक・ブルンク・ブルンクの「シュッ」という音が工夫されていると思つた。質問→弓を使つた時に手ではじいてる時はどのくらいいいですか?とても指づかいが速くて目で見ようとしても見えないかつたです。チェロを大きく音出すと思つたけどおどろきで意外に小さかつた事を知りました。</p>
<p>アイネクライネナハトムジークのうたは、たんちょうということがわかりました。弦楽器でコントラバスより大きい楽器はあるのですか、1人でひくよりみんなでひいた方が音がいいと思つた。なので、いろいろな楽器をつかつたほうがいいと思つた。ほくは一番プリंक・ブルンク・ブルンクがすきだつたです。いろんな音がきこえてあわせるとふんいきがちがうと思つた。</p>	
<p>バイオリンをひく人が2人で「なぜだろう?」と思つたけど2人いるにはわけがあることがわかりました。いろんなひきかたがあることがわかつてよかったです。1つの楽器より多くの楽器でやつた方が楽器1つよりすごいいい思つた。</p>	
<p>アイネクライネナハトムジークを聞いていい曲だと思つた。バイオリンをひいてみたいと思つた。ほくはギターを練習しています。同じ弦楽器です。夏休みにギターを練習したいです。</p>	
<p>プリंकブルンクブルンクの時、本当に指がいたかつたです。わたしは指がいたかつたです。いつかわたしも上手になつてビチカートを上手にできるようにしたいです。アイネクライネナハトムジークをひく時、うしろのほうが長かつたです。チェロの原田哲男さん、チェロをひいてるさいちゅうにほくべたをふくらませていました。あれはどうしてですか?わたしは気になります。私はテレビで曲をきいたことがあつたんですけどアイネクライネナハトムジークの曲はきいてみたいです。いつかわたしもききたいです。わたしははじめて、あんなに長いあつたビチカートをひいてるのを見ました。とてもすごいいい思つた。わたしはぜんぜんできません。でもできるようにがんばります。</p>	
<p>アイネクライネナハトムジークを聞いて自分は第一バイオリンと第二バイオリンと比べ少い音色が高かつたと思つた。そして第二バイオリンと比べ少い低くてチェロのようなリズムがあつたと思つた。バイオリンとピオラとチェロのこの3つがすべてそろつてアイネクライネナハトムジークができあがつたとあらためてしりました。プリंक・ブルンク・ブルンクのような音を使わない曲もあると思つた。またプリंक・ブルンク・ブルンクは夜のディーナのような暗い曲に自分はいかめつた。自分は今日聞いた中でアイネクライネナハトムジークがとても気に入りました。今日はありがとうございまして。また来てくださいます。</p>	
<p>プリंक・ブルンク・ブルンクの演奏が遊んでいるような音色だつたので楽しそうでもおぼろげな音をとるくらい上手な演奏でした。今日はお忙しい中演奏をひいてくださりありがとうございまして。ほくもバイオリンを買つて使つてみたいとおもいました。</p>	
<p>質問→チェロは演奏する時重くないですか?ビチカートで演奏する時、指はいいですか?教えてください!感想→私は②で「一人で演奏するより、みんなで演奏する方が楽しく聞けるな」と思つた。①は聞いておどろくほど楽しかつたです。②の第3楽章、第4楽章も聞いてみたいです。</p>	
<p>プリंक・ブルンク・ブルンクはアンダーソンがかいたきよくだつたしりませんでした。質問 バイオリンやピオラチェロなどはどこでにれたんですか この中でチェロがほいでです。かつたえんそうしたいです 質問2なんでバイオリンやピオラは弦楽器とばれてるんですか。</p>	
<p>ハンガリーは、ピオラをひいてる。黒木津津さんとは、上手で、ひょうげんが、すごよかつたです。アイネクライネナハトムジークは、みなさんの息が、かきかた、とてもよかつたです。プリंक・ブルンク・ブルンクは、ビチカートで、バイオリン、チェロ、ピオラの音が、はつきりして、大変よくだつたけど、いっしょうけんめいひいていました。</p>	
<p>1曲目の曲は名前だけじゃわからなかつたけど聞いていたら知つている曲でした。2曲目の曲はじゅぎょうで聞いたことがあつたので、知つていたけどじゅぎょうの時は、いっばいの人でひいていたけど4人でひいてすごいなあ～と思つた。3曲目の曲ははじいてひいてるのにすてきなえんそうだと思つた。3個の楽器で4人でひけてすごいいい思つた。</p>	
<p>プリंक・ブルンク・ブルンクがいちばんこころにのこりました。バイオリンをひいてみたいと思つた。</p>	
<p>ほくが一番心に残つた曲はアイネクライネナハトムジークです。なぜこの曲が一番心にのこつたかと言うと、ほくはアイネクライネナハトムジークをよく知つていたし、一番楽しそうな曲だつたからです。なぜこの曲が楽しそうな曲だつた理由はともにもいいかんじで、ほくはこの曲がとても好きな曲でした。アイネクライネナハトムジークのほかに、おもしろい曲がたくさんあつた。その中でもプリंक・ブルンク・ブルンクが最もおもしろい曲だつたと思つた。とてもおもしろいと思つた理由は、楽器をひくときに、弓ではなく指を使うという事がおもしろいと思つた。プリंक・ブルンク・ブルンクは、みんなが楽しくむずかしそうにひいてるという事がおもしろいと思つた。だから長調と言うよりは短調だと思つた。きいてみるとどれもおもしろい曲で、すべてむずかしい、思つた。また時間があつたら聞いてみたいです。ものすごく勉強になつてよかつたです。</p>	
<p>私は、弦を指ではじくビチカートを初めて知りました。「アイネクライネナハトムジーク」が日本語で小さな夜の音楽の意味があるのも知りました。これから知りたいことは、(ぎもんに思っていることは)弦楽器はどれくらいあるのかとなぜ右手にもつ弓には馬のしっぽが使われているのかです。今日はとても楽しく、いろんな事を知ることができました。ありがとうございまして。また聞きたいです。</p>	
<p>わたしが一番心に残つたことは、プリंक・ブルンク・ブルンクです。ふつうは弓を使つてえんそうするのに、手でえんそうしてたのにかに残りました。あと、学校でべんきょうしたアイネクライネナハトムジーク第1楽章をえんそうしてもらえたのがとてもうれしかったです。質問です!みなさんの好きな曲はなんですか?いろんな曲をえんそうしてくださつて本当にありがとうございまして。</p>	
<p>始めに聞いた「ハンガリー舞曲第5番」は私は聞いたことはなかつたけど、いさまい感じがついて、ちゅうで音の大きさ?や感じがかわつたりしておもしろかつたです。次に聞いた「アイネクライネナハトムジーク第一楽章」は、音のかさなりや音の大きさ、いろいろな音のこころがわかつた。それと、「アイネクライネナハトムジーク」は、音のかさなりや音の大きさ、いろいろな音のこころがわかつた。それと、「アイネクライネナハトムジーク」は、「小さな夜の曲」という意味だけれど、2楽章の方がいいと思つた。私が一番好きだつたと思つたのは最後の「プリंक・ブルンク・ブルンク」ウクレレでひいてるよう、楽しかつた! (けどいいさう...) 質問1日に何時間練習しているんですか?</p>	
<p>ほくは、3つのなかの2つにアイネクライネナハトムジークが心にのこつた。ゆうめいだしほくもしつたからです。うれしかったです。バイオリンやピオラとかチェロを上手ですごいいい思つた。とくにチェロがよかつた。ほくもやつてみたい。またききたいです。</p>	
<p>プリंक・ブルンク・ブルンクを、指でひいてたのでいたそうだなと思つた。でも、きれいな音だつたのですごいいい思つた。アイネクライネナハトムジークははくりよくあつていいと思つた。私は3曲の中でプリंक・ブルンク・ブルンクが1番印象に残りました。3曲ともきれいな音ですごくいい思つた。</p>	
<p>生で聞いたとしてもはじく力があつたからです。質問どうやつたら馬のしっぽであんなきれいな音が出るんですか?弓がひいて手でひくひきかたがあると知つておもしろいひきかただなと思つた。原田哲男さんの声がいいえんそうだと思つた。</p>	
<p>ほくは、アイネクライネナハトムジークの日本語の意味を聞いてびっくりしました。それは「小さな夜」という意味だつたからです。前の音楽のじゅぎょうのときに聞いて元気な音楽だつたと思つたから。小さな夜の意味は、2番の音楽や3番や4番のことからわかつてた。</p>	
<p>曲を聞く前にバイオリンなどまず1つの楽器でメロディーをひいてその後曲をひいていくのでちがいが分つてよかつた。③を演奏するときに楽器の後ろをたたいてたのでそれも演奏かなと思つた。私は②の曲が一番好きだ。きよくひいてるときにすこく笑顔で楽しひいてると思つた。</p>	
<p>みなさん今日はライブということでしたらうたいたいだいでありがとうございまして。みんなじょうずに音をそろえて、きれいな音色になってすご感動しました。これからも、音楽でいろいろな人を楽しませてくださいます。今日は本当にありがとうございまして。</p>	